

あおりは新聞



(平成18年12月1日発行)

第 12 号

発行 介護老人保健施設
国立あおやぎ苑
リハビリテーション課
住所 国立市青柳 3-5-1
電話 042-526-5100

苑内でも四季をたのしめますよ

苑内は夏は涼しく、冬は暖かく、とかく季節感を忘れがちになります。ふと目を外に向けると、春は近くの公園や隣りの技術専門校の桜が見事に花を咲かせます。夏は、野菜達が活躍する季節です。屋上やリハビリ室の庭で茄子、ミニトマト、胡瓜等を園芸クラブが心を込めて栽培し、収穫され、皆様の窓口へ、季節と共に食されております。駐車場には、赤、青、ピンク、白等色とりどりの朝顔の花が鮮やかに咲き誇ります。秋になると、苑内の庭では柿がたわわに実り、早く食べて下さいよと催促しているようです。小鳥達も美味しそうに実をつついて、まるで歌っているかのようにさえさえずっております。初冬になると、大きな南瓜がロビーに飾られ、恒例の重さ当てクイズが始まり、大勢の方々から応募があります。遠くへ出かけなくとも部屋の窓から季節を楽しむことができます。そして、今年もあと一ヶ月で過ぎていきます。

国立あおやぎ苑 総務部長 木村昭夫

クラブ活動情報と新入・退職職員のおいさつ

園芸クラブ

前号で紹介した稲は何とか刈り入れが済み、コスモスも色とりどりの花を咲かせ、楽しませて



もらいました。今は、パンジーと春に向けて球根を植えました。さて、どんな花を咲かせるでしょうか？乞ご期待。

リハビリテーション課からのお知らせ

最近、リハビリ室をご利用になられる方々が増えております。リハビリ室が大変混雑している際には、誠に申し訳ございませんがプログラムによっては順番が前後することもございます。また、時間になりましたら担当職員がおうかがい致します。ご協力の程、宜しく御願ひいたします。リハビリテーション課職員一同

新入職員あいさつ

理学療法士 池田洋行

国立あおやぎ苑と谷保デイサービスセンターの2つの職場に早く慣れて利用者の皆様と楽しくリハビリをして行きたいと思ひます。笑顔！

リハビリ助手 石井史恵

リハビリ助手をさせて頂きますが、勉強になる事ばかりです。早く利用者様の顔、名前、そしてリハビリのプログラム内容を覚えられ様に頑張りますので宜しく御願ひ致します。



退職職員あいさつ

リハビリ助手 河村典子

9ヶ月という短い期間でしたが皆様には大変お世話になりました。色々な方々にお会いする事ができ、勉強させて頂きました。これから益々寒くなりますがどうか皆様お身体に気をつけていつまでもお元気でいらして下さい。ありがとうございました。

谷保デイサービスセンター

当苑は、国立と立川の老人保健施設以外に、認知症対応のグループホームやデイサービスセンターといった施設も併設しております。今回は、「国立あおやぎ苑谷保デイサービスセンター」をご紹介します。

平成17年5月に開設した定員15名の通所介護事業所です。

1階で広さは、約18坪、南向きの日当たり良好。窓が多くてとても明るく、居心地がよいと利用者様に好評です。

場所は、JR南武線の谷保駅から徒歩5分。近所には商店街や谷保第一公園があり、閑静な住宅街の一角にあります。

職員は、所長兼看護師、相談員、介護士、作業療法士、理学療法士、管理栄養士そして調理担当です。



☆当デイサービスセンターの特色

- (1)利用できる時間帯が3コースあり、体調や都合等に合わせて好きな時間帯・曜日の選択ができます。
- (2)機器を使ったリハビリ以外にも様々な趣味活動・イベントも実施しています。
- (3)昼食は管理栄養士の作成した献立を調理職員が心を込めて作っております。
- (4)利用者様一人一人に対して多くの時間をかけて手厚いサービスを提供しております。

ゆったりとした環境の中でリハビリと趣味活動を行いながら、利用者様に安らぎとコミュニケーションを提供できるようにがんばっております。

お問い合わせ先：Tel 042-580-0340

住 所：国立市富士見台1-25-17



利用者コーナー

- 子に合す父母の歩幅や七五三
 - 粕汁を飲んで女房赤くなり
 - 歩きつつ人遠ざかる秋曰かな
 - 振り袖の丈より長いちとせあめ
- 〈通所利用者読みひと知らず〉

何気なく 交わす笑顔に 度々の
恥じらいありて 少し悲しき
秋こゆる あかつき飛んで
行くような

燃ゆる空にも 烏わたる事
かつての曰 子ども時代の
暮れ早さ

線路づたいに 歩み遊びし
〈2F入所利用 S・K様〉